

はじめに

本報告書は、平成11年度から4年間の計画で始められたプロジェクト研究、「農村経済活性化のための地域資源の活用に関する総合研究」の一環として、英国ブリストル大学教授バーナード・レーン（Bernard Lane）氏が執筆した“Rural Entrepreneurship : A European Commentary and Case Studies”の全文に日本語訳と若干の解説を付し、プロジェクト研究資料としてまとめたものである。

当プロジェクト研究は、農林水産技術会議事務局が所管する連携開発研究「中山間地域における地域資源の活用に関する総合研究」（平成9～14年度）を平成11年度に組み替えている。当初、主査を農業研究センター所長とし、農業総合研究所等、農林水産省の9試験研究機関及び委託先の大学が、3つの系で構成される30の小課題を分担した。平成13年度からは、試験研究機関の機構改革により、農林水産政策研究所および独立行政法人・農業工学研究所、同・農業技術研究機構、同・森林総合研究所、同・水産総合研究センターの5研究機関（他に委託1大学）が参加する交付金プロジェクト研究となった。

農林水産政策研究所（旧農業総合研究所）は、3つの中課題において5つの小課題を担当するが、本書は、Ⅱ－3－（3）中課題「農村政策に関する国際比較と地域活性化方策の解明」の研究成果の一部である。

原著者のバーナード・レーン教授は、グリーンツーリズムの研究者として定評があり、このペーパーでは農村起業家の分析に重点を置いている。ここに示された知見が、わが国における関連施策や研究にとって参考になれば幸いである。

本報告書の作成に当たっては、農林水産政策研究所国際政策部・吉永健治ヨーロッパ研究室長（現在FAOに派遣中）がレーン教授との連絡及び関係文献・資料の収集を、また同評価・食料政策部・後藤淳子主任研究官が監訳を担当した。

なお、本書の刊行を快諾された原著者のレーン教授、および短期間で翻訳していただいた小山善彦・バーミンガム大学ジャパンセンター所長に対し、厚く謝意を表する次第である。

平成14年3月

農林水産政策研究所